

2025年2月7日

各位

会社名 株式会社 かんなん丸
代表者名 代表取締役社長 野々村 孝志
(コード番号 7585 東証スタンダード)
問合せ先 取締役管理部長 宮永 一彦
(TEL 048-815-6699)

2025年6月期第2四半期(中間期)業績予想の修正及び
通期業績予想の修正並びに営業外収益の計上に関するお知らせ

当社は、2024年8月14日に公表いたしました2025年6月期の第2四半期(中間期)の業績予想の修正及び通期業績予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、2025年6月期第3四半期(2025年1月1日から2025年3月31日)において、営業外収益を計上することになりましたのでお知らせいたします。

記

1. 営業外収益の計上

投資有価証券償還益

当社が保有している投資有価証券の一部が償還により運用益が確定し、4百万円の営業外収益が発生しました。

こちらは2025年6月期第3四半期(2025年1月1日から2025年3月31日)において、営業外収益に計上いたします。

2. 第2四半期(中間期)業績予想及び通期業績予想の修正について

第2四半期(中間期)業績予想の修正(2024年7月1日~2024年12月31日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回予想(A)	985	2	1	1	0円26銭
今回修正予想(B)	948	△57	△56	△58	△15円36銭
増減額(B-A)	△37	△59	△57	△59	—
増減率(%)	△3.7	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2024年6月期第2四半期)	815	△96	△96	△103	△27円28銭

通期業績予想の修正(2024年7月1日~2025年6月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想(A)	1,950	4	1	1	0円33銭
今回修正予想(B)	1,888	△122	△119	△129	△34円10銭
増減額(B-A)	△62	△126	△120	△131	—
増減率(%)	△3.2	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2024年6月期)	1,649	△180	△172	△206	△54円21銭

3. 業績予想の修正の理由

当第2四半期（中間期）の業績につきましては、売上高に関しては多くの店舗で目標達成してまいりましたが、物価高騰による仕入原価の上昇及び水道光熱費の増加のみならず、最低賃金の引き上げに起因する人件費の上昇、従業員確保に係る採用費用の増加、加えて米や青果等の国内食材の大幅な価格上昇により、原価及び販売管理費の上振れが顕著になっており、経営環境は引き続き厳しい状況で推移しました。

このような中、当社は年初において黒字転換を見込む事業計画を組み、目標達成を掲げてスタートしましたが、地域間での目標達成格差の顕在化と物価上昇局面におけるFLコストとその他経費項目の上振れ傾向のコントロールに苦慮し、売上高は前年実績を上回ることが出来ても、計画通りに利益の積み上げが出来ませんでした。業績回復の遅れている店舗の改善策として、地元密着で幅広い顧客層に支持され売上貢献が見込め、FLコストコントロールの効きやすい店舗運営が可能な、自社業態である「じんべえ太郎」への業態転換を前倒しで進めました。

他方において、当社は、上場維持基準の適合に向けた計画を達成するために、大株主との調整や様々な施策を準備し、実行するべく動いてまいりました。昨年8月14日のリリースにおいて、持続的な企業価値の向上を目指して、株主優待によるご飲食券進呈の再開、監査等委員会設置会社への移行に伴い、意思決定の迅速化を図ることによって事業ポートフォリオの組み換えを進めてまいりました。上場維持基準を充たすために、株価上昇・維持を図りつつ、流動株式を増やすための施策を同時に進めながら、営業黒字に向けて政策投資を検討し運営しております。上記施策を勘案し業績予想を修正いたします。

通期業績につきましては、第2四半期（中間期）までの店舗売上高の状況、仕入原価、水道光熱費、パートナー時給等、経費の動向を勘案し、また下期からスタートする株主優待制度再開に係る政策として進める費用と業態変更にかかる費用を見積り、第2四半期（中間期）まで運営状況をふまえ、前回予想を修正いたします。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上